

特集：2024年度 教員免許状取得・教員採用実績

2024 年度 教育職員免許状交付式

3月14日、2024年度卒業式・学位記授与式終了後、本学教職課程センター主催の「教育職員免許状交付式」が行われました。藤井大輔教職課程センター・地域学校教育センター長から、日本語学科13人、英米語学科35人、中国語学科2人の計50人に教育職員免許状が手渡されました。併せて、現時点で4月から教壇に立つことが決まっている人たちにMETTS賞のクリスタル盾が贈られました。各学科を代表して、日本語学科の吉野青空さん、英米語学科の大野杏里さん、中国語学科の高良杏さんが、教職員や友達、家族への感謝の気持ちをこめた挨拶をしました。最後にMETTSの教員からはなむけの言葉が贈られました。卒業生の皆さんの未来が幸せに満ちたものになりますようにお祈りします。



2024 年度 教員（教諭・講師）採用実績

明海大学の教職課程で学び、教員免許を取得した卒業生のうち 32 人（2025 年 4 月 1 日現在）が、この 4 月から教員として学校に着任しました。32 人の内訳は、公立・私立合わせて国語科 8 人、外国語（英語）科 23 人、中国語科 1 名で、赴任校は以下の通りです。

千葉県立千葉商業高等学校	英語科教諭	東京都立橘高等学校	英語科教諭
千葉県立土気高等学校	国語科教諭	東京都立北特別支援学校	国語科教諭
千葉県立茂原高等学校	英語科教諭	東京都江東区立深川第三中学校	英語科教諭
千葉県立一宮商業高等学校	英語科教諭	東京都江東区立南砂中学校	英語科教諭
千葉県立大原高等学校	英語科教諭	東京都世田谷区立砧中学校	英語科教諭
千葉県立千葉中学校・千葉高等学校	英語科講師	東京都板橋区立赤塚第二中学校	英語科教諭
千葉県佐倉市立志津中学校	英語科教諭	東京都葛飾区立綾瀬中学校	英語科教諭
千葉県茂原市立東中学校	英語科教諭	東京都江戸川区立小松川第二中学校	英語科教諭
千葉県茂原市立南中学校	英語科教諭	東京都江戸川区立南葛西中学校	英語科教諭
千葉県市原市立八幡中学校	英語科教諭	東京都国分寺市立第四中学校	英語科教諭
千葉県千葉市立生浜中学校	英語科教諭	新潟県佐渡市立相川中学校	英語科教諭
千葉県千葉市立生浜中学校	国語科講師	新潟県胎内市立中条中学校	英語科教諭
東京都立小岩高等学校	英語科教諭	静岡県富士市立富士川第二小中一貫校松野学園	英語科教諭
東京都立多摩高等学校	国語科教諭	埼玉県立和光国際高等学校	中国語科講師
東京都立永山高等学校	国語科教諭	郁文館夢学園 ID 学園高等学校	国語科教諭
東京都立中野工科高等学校	国語科教諭	武相中学・高等学校	国語科教諭



ウーロンゴン大学研修報告会

3月25日、ウーロンゴン大学研修報告会を開催しました。報告会には新3年生となる学生や外国語学部の先生方25人が参加しました。研修概要説明とイメージ動画の視聴の後、研修に参加した日本語学科3年生2人、英米語学科3年生5人の計7人が、各自事前研修で設定したテーマについて研究報告を行いました。研究報告では、日本とオーストラリアにおける言語教育・教授法の違いや、オーストラリアの実践的な英語指導法や指導上の留意点など、体験的に学んだことやインタビューした内容に基づき、海外研修ならではの成果を発表しました。この研修で学んだことや得た経験を、これからの学生生活や進路希望で活かすことを願っています。



石鍋 浩 教授 特別講義「令和の日本型教育を築く君たちへ」

教職課程センター副センター長の石鍋教授が、今年度末をもって明海大学を退職されることとなりました。石鍋教授は、7年間在籍され、英語と教職教養の指導に携わるとともに、教員採用試験対策にも取り組んでこられました。本学教職課程から多くの教員を輩出することに多大なる貢献をしてくださいました。

3月19日（水）15:00 から、石鍋教授による退職に当たっての特別講義が「令和の日本型教育を築く君たちへ」と題して行われました。

まず講義の冒頭に御自身の経歴について紹介されました。石鍋教授は、明海大学の教授として着任された2018年までに、都内の公立中学校の英語科教諭として15年、品川区、江東区、稲城市の教育委員会等に12年、そして4校の中学校等で校長先生を10年と、実に多くの教育にかかわる経験を積まれてきました。

そして、その後、特別講義の本題として、参加した卒業生、学生の参考になればということで、授業の在り方、教員を目指す者への経験に基づく様々な助言、そして最後にこれからの時代に対応していく上での留意事項について、独特のユーモアを交えた一流の石鍋節で語られました。

授業については、アクティブラーニングの重要性、指導計画の在り方と実際の例、学習目標の立て方、質問の使い分け、中間指導（評価）の効果、振り返りと導入の意義など、詳細な説明がありました。

続いて、「あの時、僕は若かった！」ということで、大学時代のマンドリンクラブの部長としての経験、教員1年目の成長と変化、最初の卒業生との思い出と現在も続く交流などについてのお話があり、校長としての立場から見た、教員に求められる専門性の学校種ごとの違い、挨拶の効用と挨拶が開く可能性などに触れながら、教員という仕事のやりがいや魅力について語られました。

最後に、Society 5.0の到来に伴う社会の変化、35人学級への移行など、これからの時代の教員が向き合わなければならない課題は多様ではあるが、どのような時代であっても変わらない教員としての心構えとして次の3点を挙げて、講義を締めくくられました。

- 学び続ける教師のみが真の教師の資格あり
- 教育は「人と人とのつながり」そして「心と心のつながり」
- 笑顔を大切に！

講義には本学の学生、卒業生、教職員など40人を超える参加者があり、石鍋教授の退職を心から惜しむ声と多くの感謝の言葉が聞かれました。石鍋教授のますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

